

第 11 回宇宙開発委員会 議事要旨(案)

(議事次第と重複する情報のため記載を省略)

5 出席者

宇宙開発委員会委員長

松尾弘毅

宇宙開発委員会委員

青江 茂

〃

池上徹彦

〃

野本陽代

〃

森尾 稔

文部科学省研究開発局局長

藤田明博

〃 大臣官房政策評価審議官

倉持隆雄

〃 大臣官房審議官(研究開発局担当)

板谷憲次

〃 研究開発局参事官(宇宙航空政策担当)

池原充洋

〃 宇宙開発利用課長

奈良人司

6 議 事

- (1) H- A ロケット信頼性向上に関するこれまでの取り組みと今後について

H- A ロケット信頼性向上に関するこれまでの取り組みと今

後について、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(遠藤宇宙基幹システム本部先進基盤開発室長)より説明があった。

青江委員より、将来的には、民間主体のロケット打上げの法制度も含めたあり方について検討すべきとの発言があった。

(資料委 11-1 参照)

- (2) JEM 運用・利用事業への民間活力導入に係わる企業選定結果について

JEM 運用・利用事業への民間活力導入に係わる企業選定結果について独立行政法人宇宙航空研究開発機構(山浦有人宇宙環境利用プログラムグループ企画推進室長)より説明があった。

青江委員より、民間企業による JEM の有償利用事業が進むよう、努力すべきとの発言があった。

池上委員より、民間企業的な発想で宇宙空間にある研究室をより魅力的な場所に変えていくということが重要であるとの発言があった。

(資料委 11-2 参照)

- (3) 「はやぶさ」の現状について

「はやぶさ」の現状について、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(川口月・惑星探査推進グループ、月・惑星探査推進ディレクタ)より説明があった。

(資料委 11-3 参照)

- (4) その他

宇宙開発の現状報告

事務局より説明があった。

(資料委 11-4-1 参照)

議事要旨

第 10 回宇宙開発委員会議事要旨(案)について、原案どおり了承した。

(資料委 11-4-2 参照)